

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 英語文化系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

[I]

課題1： 解答：(ア) connection

出題の意図：この種の問題は前後の文脈から語の意味を推測する力をみるために作成した。「どれだけ単語を知っているか」「どれだけ珍しい意味を知っているか」といったことを問うための課題ではない。

課題2： 解答：(イ) the other

出題の意図：英文法に関する基本的な知識を持っているか、またそのような表現を類似した表現の中から正しく選ぶことができるかどうかをみるために作成した。

課題3： 解答：(エ) mechanical

課題4： 出題の意図：“Make learning personally relevant to your child”という方法が有益である理由が述べられている文の主意を的確に理解できるかを問うた。

課題5： 出題の意図：ある表現が文章中のどの部分を具体的に指すのか、そして指されている部分の内容を正しく理解できるかを問うた。

課題6： 解答：(エ) to teach

課題7： 出題の意図：著者が提示している具体的な活動例について理解できるかを問う問題である。特に、そこで描写されている動作を的確にイメージできているかを問うた。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 英語文化系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等、

課題8：出題の意図：著者が考える “The best test-taking strategy for parents” の要点がやや抽象的にまとめて列挙されている箇所に関して、3つそれぞれの点を的確に理解できているかを問うた。

課題9：解答：(ウ) routines

課題10：出題の意図：文章中のヒントを総合して著者の主張を的確に理解できるかどうかを問うた。

課題11：解答：“(your) children”

出題の意図：文脈に即して代名詞の指す意味内容が理解できるかと問うた。kidsなど、文脈の主旨と合致した解答であれば、それも正解とした。childなど単数形で答えた解答は減点した。

[II]

課題12：出題意図：実際の英語教育の状況をイメージしながら、文章の内容を踏まえて具体的な方策について日本語で書き表すことができるかを問うた。受験生が示す方策がどのようなものであっても、説得力をもって示されていれば得点を与えた。

課題13：出題意図：日本語の主意を適切に英語で表現できるか、とにかく直訳しただけの不自然な英語ではないわかりやすい英語が書けるかを問うた。受験生には、おざなりの定型表現・常套句を覚えるだけではなく、自らの実感を伴った意見を正確に翻訳できる創造的な翻訳能力も英語学習においては大切であることを自覚してほしい。

以上

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

【第1問】

設問1 言葉が使われる文脈が見えやすい日常会話に対し、教科学習の内容は抽象的であることが多く、言葉と意味の関係がつかみにくい上、日常会話に出てくる機会が少ない語彙が使われているから。（87字）

設問2 （出題の意図）本文を読んで、「移動する子ども」にとっての中学校の国語の授業の難しさを予想し、彼らに対する教室内外での支援策について、具体的な意見を持っているかどうかをみたい。

【第2問】

設問1 夫の帰宅時間が遅くなったという既知情報が、夫は妻の私と別れたいと言っているという新情報によって強められるという認知効果が生じている。そのため、一般的に、夫が妻と別れる典型的な理由のひとつは他に好きな女性ができたというウラ前提と、夫が私と別れたい理由は他に好きな女性ができたというウラ結論が導かれた。このウラ結論により、妻は「なぜなの？」の質問には自らの答えを出したうえで、さらに自分の想定が正しければ存在するだろう別の女性について「どんな人なの？」と尋ねたということになる。（237字）

設問2 （出題の意図）本文を読んで、話し手が聞き手に伝えたいことを理解してもらうには、聞き手が解釈に必要なウラ前提（文脈）を見つけられそうかを、話し手が確認する必要があることを理解した上で、日本人と外国人の会話と日本人同士の会話の違いや、円滑な会話をするための留意点について、広い知識と深い関心を持っているかどうかを見たい。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試 (総合評価方式)
教育学部
第四類 (生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース
小論文問題 解答例

問題 1.

- (1) オリンピック・ムーブメントの目的は、オリンピズムとオリンピズムの価値に則って実践されるスポーツを通じ、若者を教育することにより、平和でより良い世界の構築に貢献することである。
- (2) 何年も、イチロー選手は50(歳)になるまでプレイしたいと言ってきた。「50(歳)になるまで、本当に試合に出たかったが、できなかった」とイチロー選手は語った。「しかし、そう言つていなかつたら、こんなに長く続けられなかつたと思う」。
- (3) ソルトレークシティで開催された米国国際フィギュアスケートクラシックでのシーズン初のイベントで優勝したこと、4回の全国チャンピオンは土曜日に好調なスタートを切りました。宮原は、ジャンプコーチのリー・バーケルとトレーニングするためにトロントに移ることで大きな決断をしたと発表した数日後に勝利を収めました。
- (4) 身体的活動が世界中の若い女性の生活をどのように改善しているのかについては多くの例があります。アフガニスタンのように貧しく、困難な国においては、スポーツが能力を高めること（エンパワーメント）と解放の過程として作用する可能性を示す顕著な過程があります。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教育学部
第四類（生涯活動教育系） 健康スポーツ系コース
小論文問題 出題意図

問題2.

来年度、開催される東京オリンピック・パラリンピック2020においては、さまざまな国々から、多くの競技者、観光客など、さまざまな参加者があると考えられる。そして、多くの人が東京に集まることによって、多額の経済効果、宿泊施設や交通網の不十分さ、環境的においても酷暑等が予想される。その他にも、さまざまな課題が想定される中で、本来オリンピック・パラリンピックのあり方はいかにあるべきかについて、受験者自身の考え方を表明しつつ、そのあり方についての長所や短所を挙げつつ、自らの意見を論理的に述べることを求める。どの立場が正しい、あるいは間違っているということはないため、一段落で論文を書くことをしない、誤字脱字をしない、等に注意を払いつつ、自分の考えをわかりやすく、論理的に述べる必要がある。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教育学部
第四類（生涯活動教育系） 音楽文化系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

問題Ⅰ

出題の意図は以下のとおり。

- マレットを持って楽器を演奏する障害のある子どもが、教師の支援を必要とせずに、自信をもって、自力で、正確に曲の最後まで演奏し、満足感を得ているという内容を、適切に要約しているか。
- 障害のある子どもにとって、周囲の善意による支援が逆により結果を生まないケースをふまえ、音楽学習の場面において、支援者として、あるいは共同学習者として、彼らにどのように接すればよいか、自分の言葉で述べているか。

問題Ⅱ

出題の意図は以下のとおり。

- 創造力豊かな人物像について、根拠を示しつつ、理論的かつ具体的に述べているか。
- 創造力を持つ人材が、社会にとってなぜ必要なのか、根拠を示しつつ、理論的かつ具体的に述べているか。
- 創造力を育むために音楽教育が果たすべき役割について、根拠を示しつつ、理論的かつ具体的に述べているか。
- 全体を通して、矛盾なく論を展開しているか。
- 日本語を正しく用いながら論述しているか。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教育学部
第四類（生涯活動教育系） 造形芸術系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

出題の意図

美術を学ぶ者あるいは美術教育を学ぶ者として、広島大学が希求する平和について多面的に考える力をもっているか。さらに、自身が生きる社会における美術の働きや位置づけに対して関心をもったり考えたりしているかを問いたい。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試 (総合評価方式)
教育学部
第五類（人間形成基礎系） 教育学系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

【設問1】～【設問3】の出題の意図は次の1～5である。

1. 教育問題に関する文章の趣旨を正確に理解できているか。
2. 教育に関連する概念について身近な例をあげて説明できているか。
3. 文章内の学校批判に対する自分の考えが明確に、論理的に述べられているか。
4. 文章内の問い合わせに対する自分の考えが多様性を踏まえ、具体例を用いて、明確に、論理的に述べられているか。
5. 文章表現が適切になされているか。

令和2年度 広島大学光り輝き入試
AO入試（総合評価方式）
教育学部
第五類（人間形成基礎系） 心理学系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

文章または図表に関する問い合わせに対する解答を、以下の観点から評価するために、本問題を出題した。

- ① 読解力（図表・文章を正確に理解できているか）
- ② 洞察力（図表と文章を踏まえた考察の深さ）
- ③ 論理的思考力（首尾一貫した論理的記述がされているか）
- ④ 着想の独自性（視点の独創力の高さ）
- ⑤ 文章表現力（文章の巧拙、誤字・脱字の程度など）